

平成28年度から森林整備活動を開始した民間団体の記録

頁	民間団体	活動場所		関係局・署	
		県	市町村	森林管理局	森林管理署
5	公益財団法人 日本環境協会	宮城県	東松島市	東北局	宮城北部署
5	特定非営利活動法人 しんりん	宮城県	東松島市	東北局	宮城北部署
8	イオン心をつなぐプロジェクト (イオン株式会社グループ環境・社会貢献部)	福島県	相馬市	関東局	磐城署
12	国土防災技術株式会社 関東支社	福島県	相馬市	関東局	磐城署
16	特定非営利活動法人 D055	福島県	相馬市	関東局	磐城署
19	ライオンズクラブ国際協会332-D地区6R-2Z 相馬ライオンズクラブ	福島県	相馬市	関東局	磐城署

注：特定非営利活動法人しんりんにおいては、平成28年度から宮城県東松島市で活動を開始し、令和2年度から同市の別な箇所でも活動している。

団体名 公益財団法人 日本環境協会
社会貢献の森の名称 東日本大震災緑化支援 100 万本植樹／Project-D こどもエコク ラブの森
活動目標 宮城県内で採取したどんぐりや種子等を全国の子どもたちや企業のボラン ティアが苗木として育て、その植樹や下刈等の森づくり活動や子どもたちを 対象とした自然観察・体験学習を行う。被災地の子どもたちが野外で元気に活 動するとともに、地域の生物多様性に配慮した緑の復興の重要性を学ぶ機会 とする。
活動年度 平成 28 年度～
植栽地区の概要 箇所：宮城県東松島市牛網字大浮足国有林 548 林班い 1、い 2、 い 3 小班 年度：平成 28 年度 面積：0.63ha 樹種：抵抗性クロマツ（500 本）、ナラ・カシ類（1,750 本）、ヤブツバキ （400 本）、タブノキ（320 本）、カエデ類（30 本） 合計 3,000 本
活動概要 東日本大震災からの復興に全国の子どもたちが貢献できる事業を作ろうと の思いから生まれた活動で、岩手・宮城・福島 の 3 県で採取したどんぐりを、 被災地を含めた全国で育て、育った苗木を津波で失われた海岸防災林の再生 等のために植樹していこうというものです。 東松島市のフィールドでは、平成 28 年 4 月に約 3,000 本の苗木を植栽した 後、年 2 回程度下刈を実施しています。

1. 活動への感想

団体として森づくりや植樹の経験がなく手探りの状態でのスタートでしたが、全国の参加者が育てたどんぐりの苗木を当初のプロジェクトの目的であった海岸防災林の再生のために植えることができたのは大変うれしく思いました。一方で、特に広葉樹は活着したものの、その後の成長が思わしくなく、風や土壌などの条件が厳しい中で苗木を育てていく難しさを痛感しました。

参加者の方からは、10年後、30年後に大きく育った木を見に来るのが楽しみ、下刈などの育林活動にも参加したいとの声をいただきました。

2. 活動にあたっての工夫

自分の手で育てた苗木を植えたいという里親が、はるばる千葉県や和歌山県から参加してくださいました。また植樹からその後の下刈まで、隣接する航空自衛隊松島基地の隊員の方々にもご参加いただいております、地元の人たちの協力を得られたことは大きな成果でした。

抵抗性クロマツ苗木の調達に際しては、(公社)宮城県緑化推進委員会から助成を得ることができました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

定期的に(年2回程度)生育状況を確認するとともに、下刈や必要に応じて補植を行います。上述のとおり、引き続き航空自衛隊の方々の協力を得るとともに、子どもたちにも参加してもらえよう東松島市や近隣の自治体に働きかけていきます。

4. 海岸防災林への期待

津波発生時にその機能を十分に発揮するとともに、平時には市民の散策・憩いの場としても活用できるよう、多様性を持った樹種構成とするよう配慮してもらいたいです。

また、成木になるまでの期間が長期にわたるため、こまめにケアができる現地に近い団体の方が適任ではないかと思えます。

5. 活動状況



「こどもエコクラブの森」の看板



標柱設置の様子



植栽初年度(平成 28 年、コナラ)



植栽 3 年後(平成 28 年、クロマツ)



植樹(平成 28 年)



植樹(平成 28 年)



植樹(平成 28 年)



植栽後半年(平成 28 年、コナラ)



植栽後1年半(平成 29 年)



下刈(平成 30 年)



下刈(平成 30 年)



植栽後 3 年(平成 31 年)

団体名 特定非営利活動法人しんりん
社会貢献の森の名称 N T T 東日本みやぎの森
活動目標 海外防災林の復旧を通じて、企業と被災地をつなげることで復興、観光の支援を目指す。
活動年度 ①平成 28 年度～ ②令和 2 年度～
植栽地区の概要 ①箇所：宮城県東松島市牛網字大浮足国有林 548 林班い 1 小班及び浜市字筒場山国有林 548 林班は小班 年度：平成 28 年度 面積：1.01ha 樹種：抵抗性クロマツ 5,050 本 ②箇所：宮城県東松島市大曲字新堀向国有林 546 林班に 1 小班 年度：令和 2 年度から保育活動 （過去に他団体が植栽した箇所を引き継いで保育活動を実施） 面積：1.01ha
活動概要 動機 被災地の復興へ寄与する。 概要 NTT 東日本グループの CSR 活動として年 1 回の活動を実施しました。NTT の CSR 担当部署が募集等を行い、宮城県内のグループ社員が中心となり参加しました。当法人は設営、植林、保育作業等をサポートしました。

1. 活動への感想

下刈は成果が目に見えて、思わず夢中になってしまう人がいる一方、炎天下での作業の大変さに、除草剤を使えばいいのにといいぼやきもありました。環境への意識も高められると良いと思います。

2. 活動にあたっての工夫

作業後は震災復興伝承館へ行き活動の原点に戻りました。

「NTT グループボランティアポータルサイト」での募集を行いました。

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=ogka-tetan-1201dcc803408887c8e9ae1266e17cd6>

鎌の扱いが初めての人も多い為、使い方のしおりを配り、口頭でも説明しました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

2020年はオリンピックと重なりNTTグループ全体で大規模な活動募集は10月まで不可となるため、6月に当法人を中心とした小規模の下刈を検討します。

4. 海岸防災林への期待

何もなかった砂地にクロマツを始め様々な命が育まれ、生態系が復活しつつあります。成林すれば更に豊かな林となることを期待しています。

5. 活動状況



NTT 東日本みやぎの森の看板



記念撮影



植栽初年度(平成 28 年、クロマツ)



植栽 3 年後(令和元年、クロマツ)



令和元年 下刈 開会式
雨天決行



令和元年 下刈 石巻河北掲載

<p>団体名 イオン心をつなぐプロジェクト</p> <p>(イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部)</p>
<p>社会貢献の森の名称 イオンの森</p>
<p>活動目標</p> <p>東日本大震災津波被災地の海岸林再生。 2012 年から活動をスタートし 10 年間で 30 万本を植樹する。</p>
<p>活動年度</p> <p>①平成 28 年度～ ②平成 28 年度～ ③平成 30 年度～</p>
<p>植栽地区の概要</p> <p>①箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班な小班 年度：平成 28 年度 面積：0.72ha 樹種：抵抗性クロマツ（3,700 本）</p> <p>②箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 28 年度 面積：0.78ha 樹種：抵抗性クロマツ（3,800 本）</p> <p>③箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 30 年度 面積：0.75ha 樹種：抵抗性クロマツ（3,750 本）</p>

活動概要

1 活動の動機（イオン心をつなぐプロジェクト）

東日本大震災からの復旧・復興へ向けた社会貢献活動として、イオングループが労使一体で取り組むプロジェクトとして 2012（平成 24）年に発足しました。

当時の従業員数 30 万人全員参加の意で、「30 万本の植樹」と「30 万人」のボランティア活動」を目標に 10 年間活動する予定です。

2 活動の概要（これまでの主な植樹活動）

国有林以外にも、岩沼市「千年希望の丘」、南相馬市「鎮魂復興市民植樹」、広野町「防災緑地植樹」、石巻市「南浜復興祈念公園植樹」、三陸鉄道駅前植樹 5 駅、産業起こしとして「釜石ぶどう植樹」「気仙沼大島ゆず植樹」などを行っています。

1. 活動への感想

- ・ 海岸防災林の成り立ちと先人の苦勞について学びました。
- ・ 本来の役割は、海岸部の農地を守る防風林・防砂林。かつては、海岸部に暮らす人々の生活を支えてきた（燃料や環境）大切な森でした。
- ・ 参加者の感想は、「後世に残る活動に参加できて光榮です」、「震災を次代につなぐことができました」など。

2. 活動にあたっての工夫

参加者募集は、地元の皆さまと子ども達をメインに考え、地域外のボランティアや従業員に参加を呼びかけました。行政を引き込むことも効果がありました。

植樹地は、特に水はけについて、地域ごとに大きく異なり苦勞しました。風や雑草の種類も植樹地ごとに大きく異なりますが、大洲国有林は比較的管理が輕微でした。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

育樹活動については弊社の従業員ボランティア活動として行っていますが、時期が定まらず業者に委託することも多かったところです。5年の協定期間が迫り、各植樹地においては、磐城森林管理署にご指導をいただきながら手を入れ、少しでも良い状況でお渡しできればと考えています。

なお、当プロジェクトは 2022 年 2 月をもって終了予定であり、今後新しく協定を結ぶ予定はございません。また、プロジェクト終了後の残された協定期間については、東北の事業会社に継承してまいります。

4. 海岸防災林への期待

イオンでは震災以前から各地で「イオンの森」づくりの植樹活動をすすめており、今後東北以外でも事前防災等を目的とした海岸林植樹などには積極的に参加いたします。既に千葉県ではそのような目的の植樹を実施しております。

5. 活動状況



イオンの森の看板



標柱設置の様子
(大洲国有林)



植樹の様子
(令和 30 年部分補植)



植栽2年目
(平成 30 年植樹)



植栽2年(平成 30 年植樹)
右上写真の除草作業



集合写真

団体名	国土防災技術株式会社 関東支社
社会貢献の森の名称	J C E 希望の森
活動目標	<p>海岸防災林の機能を早期に高めるための植栽、保育施業に参画することにより、社会貢献を図る。</p>
活動年度	平成 28 年度～
植栽地区の概要	<p>箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 28 年度 面積：0.15ha 樹種：抵抗性クロマツ（902 本）</p>
活動概要	<p>1 活動の動機</p> <p>弊社は 2011（平成 23）年 3 月の東日本大震災により被災した海岸防災林の再構築に向けた業務（災害調査や緊急治山事業等）の調査、設計業務に従事させていただきました。あわせて、海岸防災林の機能を早期に高めるための植栽・保育事業に参画することで一層の社会貢献を図りたいと思いました。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>協定初年度の 2016（平成 28）年 6 月、社員及び関係者による植樹祭を行い、同年 11 月に現地看板を設置しました。以後、全木を対象とした樹勢調査を年 2 回（春・秋）、サンプリング木 105 本を対象とした成長量調査を年 1 回、その他定点記録写真等の撮影を実施しています。</p> <p>さらに、植栽地内の排水環境改善のために素掘の排水溝を設置し、年 1 回程度、その浚渫作業も行っています。2018（平成 30）年は植栽地内の侵入植生調査や UAV による上空写真撮影も実施しました（現地作業の主体は社員）。</p>

1. 活動への感想

弊社の活動主体は、社員主体ですので、以下、「参加社員の感想」「企画社員の感想」として記載します。

【参加社員の感想】

- ・ 活動を通じて、社内の親睦や気分転換ができると良い。
- ・ 弊社組織の関東支社としては、福島県大洲は東北支社管内であり遠隔地。関東支社（関東 1 都 6 県＋新潟＋長野＋静岡＋山梨）の会議とあわせて実施するイベント地としてはアクセスが良くない（移動時間や移動経費もかかる）。

【企画社員の感想】

- ・ 森林施業計画などを立案する業務を担当することもあるが、計画と実行は違う側面あり。
- ・ イベントを企画しても、関東からだとなかなか参加者が集まりにくい。
- ・ 現地の排水不良な環境条件は、植栽木の滞水害（枯死）を招いており、「社会貢献の森」という枠組みの参加団体としては、解決困難な課題。

2. 活動にあたっての工夫

- ・ 毎回の活動内容をレポートにとりまとめ、社内周知を図っています（次回参加者募集に向けたアピール）。
- ・ 排水不良な立地条件は、植栽木の滞水害（枯死）を招いています。ひとまず、素掘りの排水溝を設け、管理作業道沿いの側溝に連結させています（年に 1 回程度浚渫作業を実施）。ただし、その側溝に流末がなく、逆に水を呼び込むような事態も生じているようにも思えます。
- ・ 現在、弊社区画の植栽木の枯死率は 5.4%。福島県森林組合担当者からの聞き取りによると民有林の場合「枯死率 2 割を目安に補植」ということで、それに照らし合わせれば、補植は不要と考えられます。しかしながら、枯死木の発生箇所は、排水不良箇所に集中しており、これを放置すると将来の林帯にギャップを生じる恐れがあります。排水条件が悪いまま、クロマツを補植しても再び枯死する可能性が高いので、次善の策として、現地の湿潤地に自然侵入しているヤナギ類の枝条を活用して、植栽クロマツの枯損箇所で、ヤナギ類の挿し木を実施してみました（2019 年 7 月）。2019 年 12 月の活着率は 93%。冬越しして来春以降も生長できるかどうか、今後も見守ることになります。

現在までに作成したレポートは、以下の通りです。

- ・ 2016 年 6 月 2 日（植栽作業）
- ・ 2016 年 11 月 8 日（看板設置、生長量計測等）
- ・ 2017 年 5 月 23 日（春季点検、侵入植物調査等）
- ・ 2017 年 7 月 7 日（排水溝の浚渫作業等）
- ・ 2017 年 12 月 26 日（生長量計測等）
- ・ 2018 年 7～8 月（樹勢調査、侵入植物調査、U A Vによる写真撮影等）
- ・ 2019 年 1 月 31 日（生長量調査等）
- ・ 2019 年 7 月 3～4 日（樹勢調査、ヤナギ類挿し木の試み等）
- ・ 2019 年 12 月 23～24 日（生長量調査、ヤナギ挿し木活着状況調査等）

3. 今後の活動への抱負・活動予定

これまでと同様、以下の活動を継続する予定です。

- ・ 当社区画内の全木を対象とした樹勢調査（A～Eの5段階評価、年2回）。
- ・ サンプルング木 105 本を対象とした植栽木生長量調査（年1回）。
- ・ 撮影定点 21 箇所からのモニタリング写真撮影（年最低2回）。
- ・ 素掘排水溝の浚渫作業（年1回程度）。
- ・ 下刈、除草（これまでに実施したことなし、今後必要に応じて）。
- ・ 活動レポート作成。

4. 海岸防災林への期待

現時点で思いつくところを以下に記してみます。

- ・ 植栽地の排水性を確保していただきたいです（事業者へのお願い）。
- ・ ヒョロ長い苗木の場合、支柱を添えた方が良さそうです。

5. 活動状況



「JCE 希望の森」の看板



看板の設置作業(2016.11.8 撮影)



植栽直後(第5区画、2016.6.3 撮影)



植栽3年後(第5区画、2019.7.4 撮影)



植栽作業(2016.6.2 撮影)



生長量計測作業(2016.11.8 撮影)

※ 中段写真2枚は、いずれも同一定点から撮影したものです(第5区画、北側から)

樹種は、抵抗性クロマツです(弊社区画では抵抗性クロマツのみ植栽)。

団体名	特定非営利活動法人 D055
社会貢献の森の名称	D055 の杜
活動目標	クロマツの植樹・育成を行うことにより東日本大震災により被災した海岸防災林の再生に貢献する。
活動年度	①平成 28 年度～ ②平成 29 年度～ ③平成 30 年度～
植栽地区の概要	<p>①箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 28 年度 面積：0.15ha 樹種：抵抗性クロマツ（750 本）</p> <p>②箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 29 年度 面積：0.14ha 樹種：抵抗性クロマツ（800 本）</p> <p>③箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 30 年度 面積：0.14ha 樹種：抵抗性クロマツ（800 本）</p>
活動概要	<p>平成 23 年に発生した東日本大震災・津波・原発事故により被災した東北地域の復興を願い「D055」を立ち上げました。当初は除染・物産販売活動を中心に東北支援を行いました。その後関東森林管理局が公募した福島県相馬市松川浦海岸防災林再生活動に参加しました。平成 28 年から 3 年間植樹を行い、令和元年度からは下刈・除草を行い、植樹したクロマツの生育を図っています。</p>

1. 活動への感想

- ・ 東北の復興支援活動に参加することが出来ました。今後も頑張ろうと思います。
- ・ 他の学校から多くの皆さんが参加し、協力出来ることが楽しいです。
- ・ 苗木がどれ位大きくなってゆくか楽しみで、大きくなったところを見たいです。
- ・ 主催者として、参加者がやりがい・満足を感じられることを大切にしたいと思います。

2. 活動にあたっての工夫

- ・ 参加者を迎えるための事前準備（募集・道具集め・仮設トイレ・苗木の入手・水の確保・植樹位置決め・作業グループ分け等）、および当日の流れ（参加者受付・開会挨拶・解散式・日帰りバス見送り・後片付け等）を理事会で十分に打ち合わせました。
- ・ 苗木の入手先・植樹の位置決めおよび作業要領について、（公社）国土緑化推進機構ならびに磐城森林管理署からご指導・ご支援をいただきました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

これまで植樹した3区画について除草・下刈り等保全活動を行い、2,400本のクロマツの生育を確実にするためにも、（公社）国土緑化推進機構と磐城森林管理署との緊密な連携を継続すること、および会員以外からも十分な参加者を引き続き募集できるように小中高・専門学校・大学の各団体との関係維持を大切にしたいと考えています。

4. 海岸防災林への期待

- ・ 海岸防災林として早期に地域社会の安全と持続性に貢献できることを期待します。
- ・ 松川浦一帯が白砂青松の素晴らしい公園として利用され、地元の人々から憩いの場所となることを期待します。
- ・ そのためにも地元の人々が、より広く継続的に参加出来る仕組みづくりが出来ればと思います。
- ・ 海岸防災林の再生に向けて、（公社）国土緑化推進機構および磐城森林管理署と緊密に連携するとともに、引き続きご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

5. 活動状況



「D055の杜」の看板



看板前で記念撮影



植栽初年度
(平成28年、樹種クロマツ)



植栽3年後
(令和元年、樹種クロマツ)



植樹作業の様子



除草作業の様子

団体名 ライオンズクラブ国際協会 332-D 地区 6R-2Z 相馬ライオンズクラブ
社会貢献の森の名称 相馬ライオンズクラブの森
活動目標 東日本大震災により被災した地元の松川浦防災林の復旧復興に向けて、関東森林管理局の趣旨に賛同しライオンズクラブのテーマである「我々は、奉仕する」をモットーに活動します。
活動年度 平成 28 年度～
植栽地区の概要 箇所：福島県相馬市磯部字大洲国有林 2263 林班う 1 小班 年度：平成 28 年度 面積：0.15ha 樹種：抵抗性クロマツ（700 本）
活動概要 松川浦大洲海岸は『日本の渚 100 選』に選ばれ、また「白砂青松」の景勝地で知られた大変美しい海岸でした。東日本大震災の津波で失われた海岸防災林を復活させ、再び美しい景勝地を蘇えらせたく活動します。 ・ 年 1 ～ 2 回の除草作業及び清掃活動 ・ 枯れ木がある場合補植作業

1. 活動への感想

クラブ会員全員が自分たちの森であるという認識が高く、また、福島県内のライオンズクラブには無い復旧・復興の場所であり、数年にわたり同じ箇所ですら奉仕活動が出来ることの喜びと責任感を持っております。

2. 活動にあたっての工夫

クラブ会員全員が参加しております。会員の中に海岸防災林に携わる建設会社の方や造園会社に勤務する者、設計・測量に携わる者等がおり、現場での位置出し、樹木の手配、作業用品・備品などはスムーズに運ぶことができました。

また、樹木の保護・養生・生育のために、育樹マットを敷設した結果、令和2年1月に現地確認したところ樹木の生育は順調です。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

- ・ 定期的な現地確認
- ・ 年1～2回の除草作業
- ・ 年1～2回の清掃活動

4. 海岸防災林への期待

植樹した樹木の順調な生育を望みますが、ここ数年来の異常気象による夏場の高温や大雨、台風による水害が頻発しており、自然災害によって、樹木の倒木流失または静砂垣、丸太防風柵の破損が大きくなるよう期待します。

5. 活動状況



相馬ライオンズクラブの森看板



植栽
(看板前で集合写真)



植栽初年度
(平成 28 年、抵抗性クロマツ)



植栽 4 年後
(令和 2 年 1 月撮影)



除草作業①



除草作業②